



議会

平成28年 第4回定例会

平成28年第4回定例会が12月5日から6日まで、2日間の会期で開催されました。審議されたのは、平成28年度厚真町一般会計補正予算など同意7件、諮問1件、議案20件、認定6件、報告2件、意見書案6件で、いずれも原案どおり可決されました。その主な内容と議員による一般質問についてお知らせします。

同意

◇厚真町教育委員会教育長の任命
厚真町教育委員会教育長に、遠藤秀明さん(宇隆・59歳)が任命されました。

【遠藤教育長 プロフィール】
昭和32年6月3日厚真町生まれ。神奈川大学卒業。昭和57年に厚真町職員となり、産業経済課参事、生涯学習課長、総務課長を歴任。

◇厚真町情報公開・個人情報保護審査会委員の任命
厚真町情報公開・個人情報保護審査会委員に、次の5人が選任されました。

- 田村陽子さん(鹿沼・61歳)
 - 櫻井裕子さん(表町・40歳)
 - 新石橋公昭さん(宇隆・54歳)
 - 新佐藤耕一さん(上厚真・50歳)
 - 新日西大介さん(高丘・35歳)
- ◇厚真町固定資産評価審査委員会委員の選任
厚真町固定資産評価審査委員会委員に、大山一樹さん(上厚真・43歳)が再任されました。

諮問

◇人権擁護委員候補者の推薦
人権擁護委員の候補者として谷内朱美さん(高丘・56歳)が推薦されました。

議案

◇厚真町農業委員会委員定数条例の全部改正
農業委員会等に関する法律の一部改正に伴い、農業委員会委員の「公選制」が「議会の同意を要件とする市町村の任命制」に改められました。これに伴い、委員の定数を条例で定める必要があるため、厚真町農業委員会委員の定数を18人に変更する等条例が改正されました。

◇厚真町情報公開・個人情報保護審査会条例の一部改正
厚真町情報公開・個人情報保護審査会委員の任期が2年から3年に改正されました。

◇厚真町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

◇厚真町高齢者生活福祉センター条例の一部改正

◇厚真町介護保険条例の一部改正

◇富里地区浄水場・配水池建設工事請負契約の変更

◇指定管理者の指定
厚真町交流促進センター(こぶしの湯あつま)の指定管理者に、株式会社あつまスタンプ会(藤井隆之代表取締役)が指定されました。
■指定期間
平成29年4月1日～平成30年3月31日



こぶしの湯あつま

◇定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結
障がい者福祉について、東胆振圏で連携し、苫小牧市に拠点センターを設置するよう協定の一部を変更しました。

◇東胆振広域圏振興協議会の廃止

◇町道路線の認定
次の2路線が町道に認定されました。

- ①豊沢分家沢3号線
起点 豊沢358番地1
終点 豊沢344番地2
- ②軽舞生活会館通り線
起点 軽舞331番地5
終点 軽舞983番地

◇平成28年度厚真町一般会計補正予算(第10号)

平成28年度厚真町一般会計補正予算は、歳入、歳出それぞれ1億5,839万4千円が追加され、総額で64億1,855万7千円になりました。補正された主なものは次のとおりです。
・機能訓練・筋力向上トレーニング事業委託料 ……1,007万円
・高齢者等の冬の生活支援金 ……110万円
・臨時福祉給付金(経済対策分)給

の創設を求める意見書

◇「全国規模の総合的なアイヌ政策の根拠となる新たな法律」の早期制定を求める意見書

◇国による子ども医療費無料制度の創設を求める意見書

◇厚真川河川改修事業促進に関する意見書

◇大雨災害に関する意見書

◇JR北海道への経営支援を求める意見書

一般質問

森田正樹議員
・運転免許自主返納について
井上次男議員

・宮の森こども園および厚南児童会館等の防犯対策について
・英語圏地域での修学旅行実施に向けての現況および実現の可否について

伊藤富志夫議員

・福祉施設の人材確保について
・気象警報発令時の登下校対応について

高田芳和議員

・新たな国民健康保険制度について
・嘱託職員の処遇改善について
・下司義之議員
・役場庁舎建て替えおよび周辺環境整備

・町のイメージ戦略
・臨時職員の職務と責任と給与
・かしわ運動公園の指定管理

平成28年度介護保険事業特別会計予算(保健事業勘定予算)は、歳入、歳出それぞれ215万5千円が追加され、総額で7,425万5千円になりました。

◇平成28年度厚真町簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)

平成28年度簡易水道事業特別会計予算(保健事業勘定予算)は、歳入、歳出それぞれ5,692万円が追加され、総額で25億2,305万2千円になりました。

◇平成28年度厚真町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)

◇富里地区配水池内配管布設工事請負契約の締結

◇厚真地区配水管布設工事(1工区)請負契約の締結

◇厚真地区配水管布設工事(2工区)請負契約の締結

認定

◇平成27年度厚真町各会計歳入歳出決算の認定

決算審査特別委員会(大捕孝吉委員長)に付託されていた平成27年度の厚真町一般会計および国民健康保険事業をはじめとする5特別会計歳入歳出決算について、委員長から報告が行われ、本議会で認定されました。

◇所管事務調査報告(各常任委員会)

総務文教常任委員会および産業

報告

◇現金出納例月検査の結果報告

意見

◇国による子ども医療費無料制度

町長行政報告

◇苦小牧信用金庫との「地域結婚支援事業」の連携に関する協定の締結について

去る11月22日、本町は苦小牧信用金庫と「地域結婚支援事業」の連携に関する協定を締結いたしました。

現在、本町においても人口減少に伴う地域社会の活力の低下が懸念されており、その人口減少問題の大きな要因のひとつでもある未婚化、晩婚化による出生率の低下は、社会的にも非常に深刻な問題であります。

同信用金庫では、少子化問題の解決に向けた地域貢献事業の一環として、平成25年6月に「とましん結婚相談所」・LB（ラブラブ・ライダル）会」を開設し、営業区域内の独身男女に対し出会いの場を創出する事業に取り組み、これまで23組の結婚成立につながっているところであります。

本町では、昨年10月に厚真町まち・ひと・しごと創生長期ビジョン・総合戦略を策定し、人口減少問題の克服をはじめとする地方創生の実現に向け、各取組を推進しておりますが、このたびの協定締結を契機として、本町と同信用金庫とが結婚支援を連携協力して推進し、戦略の目標のひとつである「ひとが輝くあつま」・「健やかで安心なあつま」の達成に向け、若い世代の社交の場づくりと本人の意向を尊重した結婚を支援してまいります。



「地域結婚支援事業」の連携に関する協定の締結式

◇農作物の作柄状況について

今年の2～3月は一時寒い時期もありましたが、全般的に気温は高く、降雪量は少なく、日照時間も多かったことから、融雪期は平年と比べ11日早い3月10日となりました。春の訪れが早く、穏やかな気象経過のもと、春作業はおおむね好天に恵まれ、順調に経過しておりますが、畑作物の収穫が終わったあとの度重なる強風や、水稲の移植あとの低温、日照不足などにより、ほぼすべての作物の生育が停滞しました。その結果、多くの作物で収量、品質とも、平年並から下回る結果となりました。

日照不足や大雨、台風などの被害により、主要作物は総じて減収と品質低下があるなど、6年ぶりに作柄がすべらない出来秋となりました。

また、農業施設被害につきましては、先の定例会において補正予算計上した農業施設の災害復旧事業により復旧を図っているところですが、多面的機能支払事業との調整や新たな被害箇所が出てきたことにより事業費が増加しており、被害全体では、農地が10件、用排水・井堰が36件、農道が6件で、被害金額は約22、0

00千円となる見込みであります。

このことから、被災農業者の農業経営の安定を図るため、本定例会におきまして、農業施設災害復旧事業の追加および農業災害関係資金利子助成について提案をしているところであります。

被災した皆さまには、心よりお見舞いを申し上げますとともに、来年度の営農に支障を来すことがないよう、関係機関と連携を密にし、農業施設災害復旧事業等に取り組みでまいります。

◇建設工事の進捗状況について

北海道開発局室蘭開発建設部で進めております、国営かんがい排水事業は、厚幌導水路や豊川用水路の工事を行っており、3月下旬の完成予定で現在の進捗率は40％であります。

次に胆振総合振興局室蘭建設管理部所管の建設工事については、道道北進平取線は、厚真ダム広場付近の改良工事を行っており、2月末の完成予定で進捗率は50％であります。

道道上幌内早来停車場線は、厚真川の河川改修工事に合せて幌内橋の架け換え工事を行っており、3月下旬の完成予定で進捗率は55％であります。

道道厚真浜厚真停車場線の上厚真市街地区から日高自動車道厚真インターチェンジまでの改良工事は、本工事が行われておらず用地買収を進めております。

河川改修工事につきましては、厚真川は富里の第3区頭首工上流から幌内橋にかけて河道掘削、

築堤盛土、護岸工等の施工を行っており、3月下旬完成予定で進捗率は60％であります。

入鹿別川は、JR橋の架け替えの協議を進めております。

厚幌ダム建設事業につきましては、平成30年3月完成を目指して北海道が事業主体で工事が進められておりましたが、絶滅のおそれのある野生動物植物が確認されたため、工事を一時中断したことに伴い事業工期が1年延伸となりました。現在までのダムの進捗状況は堤体打設が完了し、現在は、地すべり対策工事を行っております。平成29年以降は天端高欄や舗装などの付帯設備や通信設備等が進められます。道道上幌内早来停車場線および町道等の付替道路工事の進捗率は46％であります。胆振総合振興局産業振興部所管の道営は場整備事業については、東和、豊沢、豊共第一、豊共第二地区の4地区の整備工事を進めておりました。

次に町の道路事業については、新町フォーラム線ほか3路線と橋梁の補修工事は、完成しております。幌内沢線の擁壁補修工事は11月末に発注しており3月末の完成であります。

公園整備事業につきましては、新町公園整備工事、ルーラル通りの森公園整備工事は完成しております。

災害復旧工事につきましては、公共土木災害復旧事業および林道施設災害復旧事業は国の災害査定が終了し、今後、工事の発注に向け準備を進めております。



子育て支援住宅

建築工事につきましては、公営住宅や町有住宅の改修工事、上厚真きらりタウンの子育て支援住宅建設工事の5棟は完成しております。厚真中学校校舎大規模改修工事は1月末完成予定で進捗率90％であり、本町の小規模多機能型居宅介護施設工事は1月末完了予定で進捗率は50％であります。

簡易水道事業につきましては、本郷地区、共栄地区配水管布設替工事は完成しております。統合簡易水道事業は、富里地区浄水場の配水池築造工事は2月末完成予定で進捗率は80％であり、浄水場の機械・電気工事は平成30年2月末完成予定で進捗率は20％であります。

公共下水道事業につきましては、浄化槽市町村整備工事は、浄化槽設置予定25基の内23基が完成しており、進捗率は92％であります。

林道専用道開設事業につきましては、幌里チケッペ川線ほか2路線の林道専用道の工事は1月末の完成予定で進捗率は30％であります。

あつまで
I LOVE ATSUMA
いきる。

本郷
山野下 明音さん（14歳）

「詩舞で念願の日本一に」



昨年8月に千葉県で開催された日本コロムビア全国剣詩舞コンクール全国決勝大会の「第一部（詩舞）幼少年の部」で優勝を果たした山野下明音さん。扇子を使い詩吟に合せ舞う「詩舞」。保育園の年長の時に厚南会館で開催された文化祭の吟舞を見て「格好いい」と思い、6歳の時に聖月流日本吟剣詩舞道会厚真支部に所属した。

山野下さんが全国大会に出場したのは、今回が3回目。一昨年から大会で舞う曲に「峨眉山月（がびさんげつ）の歌」を使用し出場している。昨年は惜しくも地区予選で敗れたが、この曲を自分のものとして完成させて挑戦したいという山野下さんの強い思いで、同じ曲を使用し、大会に挑んだ。

全国大会前日は宿泊先のホテルで、先生に夜遅くまで指導してもらったという。

「全国大会では予定より早く曲がかかり、出だしが遅れ頭が真っ白になりました。気が付いたら中盤になって：後半は、

気持ちを切り替えて自分のやりたいように踊りました」と大会の様子を語る。「納得いく踊りができず、直後に悔しくて涙が出ました。だから名前を呼ばれた時は聞き間違えかと思いました。神奈川県に住んでいる祖母やひいおばあちゃんなど親せきが応援に駆け付けてくれて、みんな喜んでくれました」と優勝を振り返る。

山野下さんは、厚真中学校2年生で吹奏楽部に所属している。また書道教室にも通っており、さまざまな分野で活動している。

「それぞれ、その時その時の目標を立て、その目標に向かって毎日練習や勉強に取り組んでいます。間にマンガや小説を読んだり、息抜きをしています」という。

「今は、いろんなことにチャレンジして、一つひとつ達成していけたら。高校生になっても吹奏楽も吟舞も続けたいです」と笑顔を見せる。